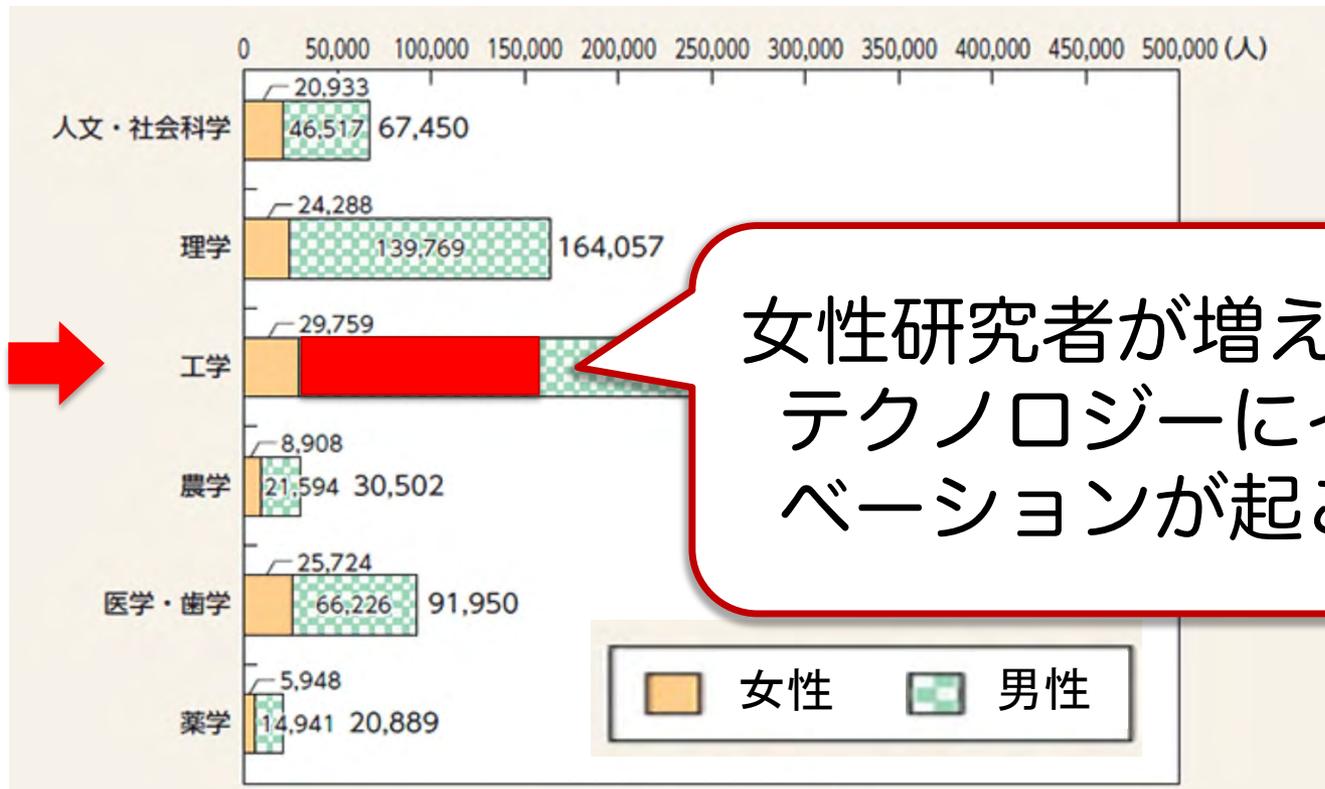




大学の活性化戦略としてのジェンダー平等

例：工学系の研究者総数が多く、その女性比率が低いことが日本の女性研究者比率を下げる要因となっている

専門別女性研究者数の比較



女性研究者が増えれば
テクノロジーにイノ
ベーションが起こる

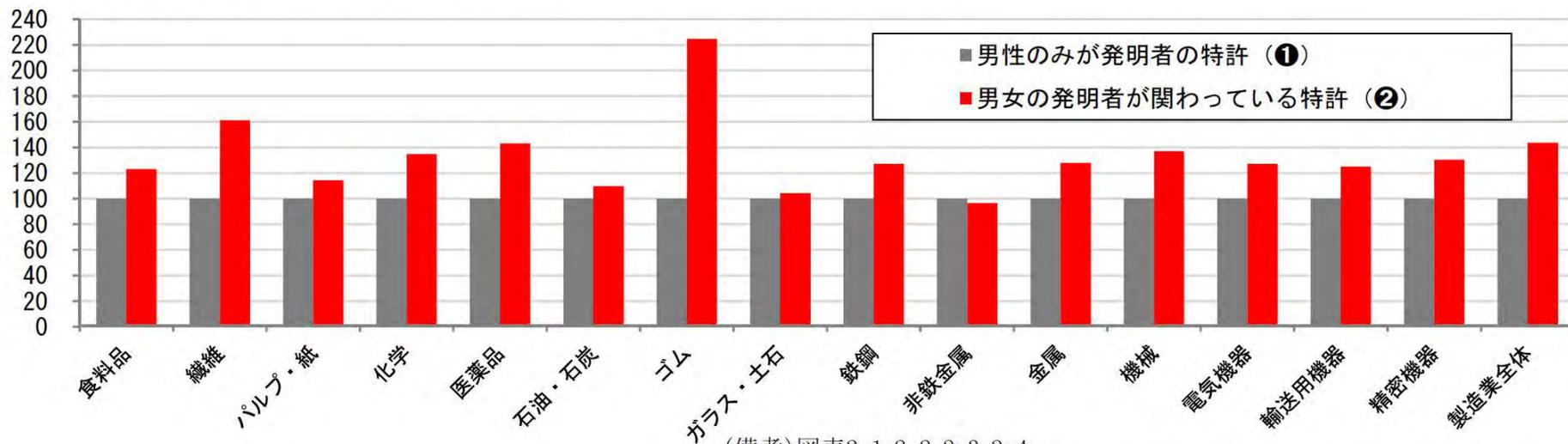


大学の活性化戦略としてのジェンダー平等

多様性の確保がイノベーションの源泉！

学術・研究におけるジェンダー平等の戦略的意義：

例：男女混合チームの発明による特許は男性のみよりも経済価値が高い



(備考) 図表2-1、2-2、2-3、2-4

三菱総合研究所「知財分析支援サービス(MRIP)」により日本政策投資銀行作成

(注) 1. 過去25年の累計国内出願特許数が1,000件以上の企業の、権利有効特許(2016年3月時点)を対象としている

2. 外国人が発明者に含まれる特許は、①外国人名は男女の名前の判別が難しい②外国人が発明者に含まれた時の影響を排除し、純粋に男性のみが発明者の特許と男女の発明者が関わっている特許の経済価値の違いを検証するため、対象からは外している

出典：日本政策投資銀行産業調査部、2016年



効果的な方策

- ・ **トップダウン**による**ジェンダー平等**推進
組織のトップの本気度→女性の活躍を具現化
- ・ **無意識のバイアス**研修
- ・ 学内保育所・託児所
- ・ 育児・介護中に5-6時に帰宅できる環境づくり
- ・ 女性リーダー育成（多様な価値観を**意志決定**に反映）

→人材の**多様性**アップ！

仕事の**効率化**や新しい**発想**に繋がり**研究力**もアップ！

→**科学技術分野でのイノベーションをもたらす**

- ・ 結果的に男性にとっても魅力的な組織になる！



名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY

大学の活性化戦略としての多様性向上

名古屋大学における取組紹介



名古屋大学の男女共同参画推進の歩み

- 2000年 男女共同参画に関するワーキング設置
- 2002年 名古屋大学における男女共同参画を推進するための提言
- 2003年 男女共同参画室創設
- 2004年 あいち男女共同参画社会推進・産学官フォーラム設立
- 2005年 女性教員比率を向上するためのポジティブ・アクションの表明
- 2006年 **こすもす保育園開園（東山キャンパス）**
- 2007年 文科省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」に採択
- 2009年 **学童保育所開所（東山キャンパス） あすなる保育園開園（鶴舞キャンパス）**
- 2010年 文科省「名古屋大学方式女性研究者採用加速・育成プログラム」
- 2012年 女性教員採用インセンティブ施策（部局予算の傾斜配分等）
- 2013年 文科省博士課程教育リーディングプログラム「**「ウェルビーイングinアジア」** 実現のための女性リーダー育成プログラム」採択
- 2014年 文科省「女性研究者研究活動支援（連携型）採択（豊技大・名市大と共同実施）
- 2015年 **UN Women「HeForShe事業」男女共同参画を推進する世界トップ10大学に選出**
- 2017年 **東北大学澤柳記念賞受賞、男女共同参画室から男女共同参画センターへ改組**
文科省「**ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）**」採択
- 2018年 教職員学生のためのLGBTガイドライン策定
- 2019年 教育研究評議会女性割合が2割以上とするため学内規定を改正
2021年4月までに女性教員比率を20%とする女性教員増員策の導入
- 2020年 文科省「**ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（調査分析）**」採択
- 2021年 文科省「**ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特性対応型）**」採択
JST 第3回 輝く女性研究者活躍推進賞（ジュン・アシダ賞）受賞
- 2022年 **内閣府男女共同参画局 令和4年度女性のチャレンジ支援賞**

男女共同参画推進のための外部資金獲得： 文部科学省「女性研究者研究活動支援事業」に6回採択

インセンティブ施策
女性リーダー育成
女性研究者の研究力
強化

ダイバーシティ
調査分析型
(R2-3)

ダイバーシティ
特性対応
(R3-7)
・工学系に特化した
女性研究者支援

女性研究者の研究力向上
および上位職への登用推進

ダイバーシティ特
色型 (H29-R4)

・岐阜大学・国立女
性教育会館と連携
・海外の大学への調
査、アンケート・イン
タビュー

理工農学系女性研究者支援
および採用加速

連携型
(H26-28)

・女性研究者リーダ
シップ・プログラム
・研究力向上セミ
ナー
・研究支援員・英文
校閲支援

システム改革加速
(H22-26)

・豊技大・名市大・産学官連
携・女性研究者リーダシッ
プ・広域メンターシップ・研究
支援員など

WLB推進体制の構築
女性研究者支援の環境
整備

支援モデ
ル育成
(H19-21)

・女性PI枠
・メンター・プログラム
・新規採用研究者へのス
タートアップ支援など

・ソフト(短時間勤務制度)及びハード面(学内学童保育所)の両立支
援策の導入・発展型ポジティブ・アクション(若手女性教員採用)